

全体として、順調に推移。各種投稿等に感謝します。3.19 報告時点から変更の部分だけ網掛け

1、「弓道石川」の発行（計画通り100%完了：総ページ数114頁：前年比+2頁）

計 画	実 施	記 事 (昨年)
第96号 5月頃発行	5月 9日発行、 5月16日配布	26頁 (20)
第97号 8月頃発行	8月23日発行、 8月29日配布	36頁 (30)
第98号 11月頃発行	11月23日発行、 11月28日配布	36頁 (36)
第99号 2月頃発行	2月13日発行、 2月20日配布	16頁 (26)

内容的には、会長巻頭言、慶事、大会結果、審査結果、大会参加者のコメント、講習会模様、各協会長のひとこと・行事結果等の投稿、常任理事各位に事前チェック、理事各位に製本のご協力頂いた。感謝いたします。100号を前にこれからの在り方を検討（後述）。総ページ数は前年比+2頁

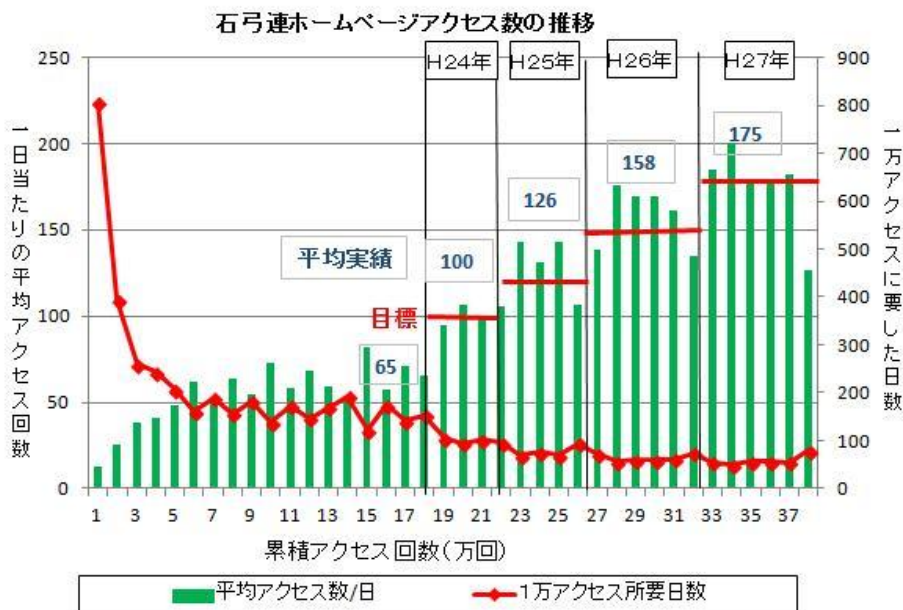
2、全弓連機関紙「弓道」ちれん発インフォメーション原稿の編集・投稿（計画通り100%完了）

3月末投稿の5月号まで、毎月月末〆切で、計画通り滞りなく投稿完了。

内容的には、大会結果、講習会模様が中心でした。常任理事各位に事前チェック頂いた。

3、県連ホームページ（目標：150アクセス/日を維持しつつ、更に180アクセス/日への向上を図る：ほぼ達成）

- ・目標に対して、更新数を維持向上させることにより、33～34万カウント時、初めて200アクセス/日（6/17）を達成、年間の平均175アクセス/日と、ほぼ目標を達成した。
- ・全国の弓道連盟で、現在21連盟のHPがあり、アクセス数は不明だが、新着情報からの更新回数上位は、（平成27年1月～12月）①石川県 432 ②熊本県 364 ③長野県 132 ④埼玉県 108 ⑤秋田県 89 ⑥新潟県 88 と今年も全国一です。更新回数とアクセス数は相関があるので、アクセス数が伸びている。



○今年度の主な改善点

- ・ 3.17：審査の会員専用ページ開設：かなりのアクセス数増加があった。
- ・ 9.27：和歌山国体速報を初掲載 1日目 288、2日目 328、3日目 308、4日目 273、計 1197 カウント
- ・ 12.20：会員専用ページに「大会速報用掲示板のテスト版」開設
- ・ 12.30：会員専用ページに「70年史投稿進捗管理&情報共有ページ0版」開設
- ・ 3.21：ホームページVer 18.1（平成28年度版）UP
- ・ 3.21：会員専用ページに「大会速報用掲示板」開設
- ・ 3.23：トップページの弓道教歌チェック完了
- ・ 3.30：会員専用ページに「70年史誌投稿進捗管理&情報共有ページ」開設

4、広報部員の拡大（0名入部・年度末1名退部＝－1名）

広報部は入部希望の少ない部として次の3項目を継続実施し、HP 関係の育成期間を一年間として、一年後から本格的に参画することとしている。順調に育成され、活躍している。

- ①広報部＝何か記事を書かなければならないというイメージ・実際はしない（これが最大）⇒払拭
- ②HP を作るスキルがないから無理⇒一年の育成期間で、確実にスキル付与。

- ③ 広報部では、弓道そのものが上手になるわけではない⇒弓道研修会の実施、今年度は現時点で未実施であるが、今後予定決定済み。各種動画撮影等も含め体配・射技の相互研修をする。今年も昇段者が出ているのは嬉しい。

H28.3.19 評議委員会資料 HP及び「弓道石川」改善アンケート結果に基づく

常任理事会決定事項(H26.7.26)に対する実施状況

広報部

H26年度末評議員会報告で見送り・完了となっているものは削除し、継続のものだけを報告する。

今後とも、完了事項を除き、当面の間継続的に実施状況を報告していく。

今年度は、前進はしているものの、完了案件はなく、全項目継続となる。

1、HPの見やすさ

- ① 大会結果が遅い時もある：情報提供が遅い場合大会結果アップ担当が催促する。昨年継続⇒ほぼ改善された。(一部、どうしても報告が遅いものがある、いかんともしがたい)⇒継続
- ② 弓道教室の広報的充実が会員拡大の一端を担うのではないか。具体案はないが：今年度も9協会(昨年9協会)の教室案内をアップ。トップページからリンク。また、ヤフー等の検索ページの石弓連の所には「弓道教室もやっています」と表示されるように設定済。更に弓道教室主催5協会からの弓道教室模様の報告(写真等)、受講生の感想文掲載。昨年継続⇒(教室模様の報告・感想文投稿はなかった)⇒継続
- ③ 能登地域の神事：各協会が関連している場合は、写真と簡単な説明記事を情報提供頂きたい。川端先生から過去に調査した情報を可能な範囲で、投稿の検討をお願いすることとなった。昨年継続⇒投稿未了⇒(70年史で同じ項目があるので、連携する)⇒継続
- ④ 大学生・高校生・中学生向けの内容も他県に比して充実していると思う。これを更に内容を充実すれば卒業した後の継続につながらないだろうか。(4項③関連)：大学の「部活の紹介」、「主将等のひとこと」、「全国大会出場感想」掲載中、高校・中学は殆ど投稿はない。高校・中学は中々難しいようですが、継続依頼していきます。学生の全国大会出場に限らず、県連から激励金が支給された場合は、引き続き大会報告&感想の提出をお願いします。昨年継続⇒ほぼ投稿無し⇒(メーリングリストを作成して依頼強化する)⇒継続
- ⑤ 全弓連や弓道協会で今問題になっているトピックスも掲載して欲しい。弓道界は何となく閉鎖的に思えるので。：全弓連・県連の情報は下記⑫参照。協会から問題になっていると云う案件ではありませんが、トピックスは従来から投稿頂いています。多くの協会で投稿をお願いします。昨年継続⇒(今年度納射会・新年射会等の行事の投稿が大幅に増えた・感謝)⇒継続
- ⑥ 石川県(加賀藩)の弓道の歴史に関する諸々の事を掲載するコーナーの設置：会員専用ページに、コーナー設置完了⇒昨年投稿待ち継続⇒投稿無し⇒(70年史で同じ項目があるので、連携する)⇒継続
- ⑦ 指導員養成講習会で提供した資料編、各種講習会での参考となる事など水橋個人として蓄積している弓道関連のアレコレを掲載するコーナーを設けて頂けないか。コーナー設置完了⇒昨年投稿待ち継続⇒未提供⇒(提供をお願いします)⇒継続

2、投稿のページに関して

- ① 教士の先生方の弓道に対する思い等興味がある。：会員専用ページと「弓道石川」にだけ載せることで11月から、リレー形式にて、毎月一人書くことに決まりました。継続⇒ほぼ順調に投稿頂いた⇒継続
- ② 中学・高校・大学の投稿が少ないように思う。1項④を参照。継続⇒(70年史で同じ項目があるので、連携する)⇒継続
- ③ 講習会での講師の講評・裏話等、体配等で変更があった点等。：伝達講習会報告を弓道石川に掲載。他の講習会・研修会も「弓道石川」に投稿頂いて掲載。今後、会員専用ページにも載せる方向とします。引き続き講習会報告をお願いします。昨年継続⇒掲載中(関心が高いと思われる)⇒継続
- ④ 目標推移⇒称号者数は少しハードルが高いか？：H26年3月の評議員会迄に執行部で検討。決定後完了…昨年未了⇒(このままなのか？ある程度達成可能な数値に変更するのか？)⇒継続

3、動画の掲載について

- ① 本人・保護者の了承が必要な具体案種々提案がありましたが、○全国大会優勝者の大会における動画○全国大会で石川県選手が活躍する姿○全国大会等で入賞した時の表彰式の様子、は選手、監督等以外の方が撮影し、提供頂ければ本人了承を得て掲載する。昨年継続⇒(進展なし・この延長線上に大会速報の実施がなされ、発展させる形で掲示板の設置実施)⇒継続
- ② 高校生または大学生に協力してもらい、動画を撮り掲載できないか
○講習会での指導ポイントを動画化○審査の間合いの動画等、低段者の参考になる動画○審査に向けた体配のお手本○矢渡・介添えの所作○持的射礼等の体配のポイント射○射法・射技の動画 等⇒過去に県連で作成したビデオ教材の現行化をする方向で何年かのスパンで指導部を中心に検討する方向。昨年継続⇒進展なし(時期を待つ)⇒継続

4、機関誌「弓道石川」に関する事項

- ① 協会の総会資料作成に「弓道石川」の大会結果を活用しているの、大いに役立っています。
しかし、会員全員の部数作成は不要と思います。：会員登録時期に事務局で必要部数の再調査を実施する。実施後完了⇒(523部⇒396部と24%減)不十分ではないか？⇒継続⇒今後の在り方(後述)
- ② 協会の毎年1月の総会資料を作成し、大会成績を掲載していますので大会結果が大いに役立っています。
しかし、25部弓道場に置いてありますが、持って行く人が少なく、毎年部数を減らしています。現在スマホを持っている人は何時でも県連のHPを見られますので、「弓道石川」をHPに載せれば不要と思います：ネット環境をもっていない会員もいるので、完全に無くするのは難しい。編集は継続⇒HPパスワードページにアップを検討し、HPにアップした後、の配布部数調査時に反映させる。：昨年完了⇒今後の在り方(後述)
- ③ 会員への周知をどこまで徹底しているのかが疑問です。そのあたりも確認できれば。・・・弓道石川の配布を徹底しているのかとの疑問でしょうか？協会で弓道場に置いて、来た人が1部持ち帰るところが多いと思うのですが、この点は協会のやり方でお任せすることとします。：昨年完了⇒今後の在り方(後述)
- ⑤ 基本的に現状のままで良いと思うが、紙でしかできない事があると、より良いと思う。以前の黒川さんの投稿の様な連載の読み物とかはどうか。黒川は編集人のため遠慮。過去の黒川、杉村さんの投稿の一部を会員専用ページに掲載⇒過去の弓道石川データの提供待ち。昨年継続⇒進展なし⇒(70年史で「弓道石川」の過去の分の関連があるので、連携する)⇒継続
- ④ 当面現状のままで良いと思いますが、本学(学院大)の場合は弓道場の記録機の上にいつも置いています。休憩時間などにちょっと簡便に読むのにとっても有難いです。無理な注文かも知れませんが、テーマを決めた研究・考察もいいのではないかと思います。我々の様なレベルでは結構誤解している部分も多いので。：早期には難しい。まずはホームページでパスワードページを設定して、その中で要望に応えるページの様なものができないか、少し時間をかけ、様子を見ながら検討する方向とします。昨年継続⇒進展なし⇒継続

上記①～③も踏まえ、「弓道石川」の今後の在り方を提案する。

H28.3.19 評議委員会資料

「弓道石川」の今後の在り方(案)

広報部

「弓道石川」も今年度99号を迎えた。前編集長から引き継ぎ、4年間実質15号分の「弓道石川」を編集してきた。この間、各種提案をして、投稿記事を増やそうとしてきたが、紆余曲折があり、大きく進化はしていない。100号の節目を迎えるにあたり、今後の「弓道石川」の今後の在り方について提案する。

1、提案理由

- ①経費節減がいわれ、アンケートでも部数の縮小の声があったが、事務局からの必要部数調査の結果、24%程度(523部⇒396部)の部数削減にしかならず、大幅な経費・稼働削減になっていない。
- ②この間、ホームページの方は会員専用ページをH26.9.1に開設し、弓道誌への投稿記事、「弓道石川」、常任理事メンバーのリレー投稿等の掲載を進め充実を図ってきた。
- ③昨年7月(1日)にはHP開設15周年を迎え、この4年間を見ても、更新回数もほぼ3倍に増え、HPにはタイムリーな各種情報がアップされるようになったことでアクセス数もほぼ3倍になった。
- ④ホームページが無かった、あるいは充実していなかった頃の「弓道石川」の位置づけは確固たるものがあったが、HPが充実し、HPとの重複で遅い情報を大量に掲載する時代は終わったのではないか。
- ⑤近年、各種団体の機関誌も印刷をやめ、ネット上に公開する動きがある。
- ⑥しかしながら、完全に廃止するには時期尚早とも考えられるので、以下のような提案をする。

2、具体的案

案：内容を縮小し、A4両面刷り2枚(4頁)程度にし、印刷は必要部数を各加盟団体に印刷。

- ・大会結果・協会だより・審査結果など単なる報告だけものは削減する。⇒ホームページ
- ・会長のことば、全国大会入賞結果と入賞者のことば、中央審査結果と昇段昇格者のことば、叙勲者、各種表彰者のことば、常任理事会メンバーのリレー投稿、その他役員・編集者が載せると良いと判断した内容を掲載する。(想いのこもった=参考になる記事を主体とする方向)

これにより、印刷費用・紙代が削減され、編集・印刷・製本稼働も軽減される。

※最近のプリンターは両面印刷ができるものが結構出てきているので、A4版1～2枚(両面印刷)、2～4枚(片面印刷)程度であれば、加盟団体の負担も少ない。各加盟団体の運営費の中で賄える範囲ではないか。もしくは申請により県連が負担という手法も考えられる。

3、今後の発行形態

今までの毎四半期に一度、年4回の発行を、偶数月の発行=年6回の発行に変え、よりタイムリーな提供にしていく。

本提案は、H28.3.19 常任理事会で却下され、従来通りとすることになった。

以上